

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日： 2023年 12月 25日		事業所名：とんとん		サービス種類：放課後等デイサービス・児童発達支援
区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	10人定員に合わせて支援室の確保、予備室の利用。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 40名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 4名/50名中</li> <li>・わからない 6名/50名中</li> <li>・少し狭く感じる。</li> <li>・見学の機会などほしい。（参観）</li> <li>・夏には屋上で水遊びを準備してくださったり、スペースを十分確保してくださっています。</li> </ul>	<p>参観について、未就学は年度末に発表会を開催している。デイをいつでも見に来ていただいても良いと、お伝えはしているが、再度周知していく。</p> <p>状況に応じて支援室と予備室の分散利用を行っている。</p>
	2 職員の適切な配置	利用定員10名に対して職員4人の配置している。お出かけの際は利用者安全確保のため4名以上配置している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 34名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 6名/50名中</li> <li>・わからない 10名/50名中</li> <li>・専門性をあまり知らない。</li> <li>・子供に合わせて職員さんのスキルアップ等、努力されていると思う。</li> <li>・お忙しい中、連絡帳を丁寧に書いてくれてありがとうございます。</li> <li>・人数、専門性、経験共に豊富な先生方がいらして助かっています。</li> </ul>	<p>状況に応じて配置の検討を実施する。</p>
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	構造的に完全なバリアフリーは難しいが視覚的情報を工夫している。手話対応も行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 35名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 9名/50名中</li> <li>・わからない 6名/50名中</li> <li>・自分のマークや友達の名前や顔をマークを通して覚えているので、本人にとって、とても合う配慮だと思う。</li> </ul>	<p>利用児にあった支援の提供</p>

	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃を行い消毒の徹底、定期的な換気を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 39名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 7名/50名中</li> <li>・わからない 4名/50名中</li> <li>・民家の間取りのままだと思うので。</li> <li>・広いのかどうかはわからない。ダンスの写真など見ると十分な空間と思う。</li> <li>・いつも清潔に保たれていて、居心地のいい空間になっています。</li> </ul>	引き続き快適な環境作りに努める。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	職員と適時テーマを共有し、意見出しと改善を行っている（ヒヤリハット含み）。毎月の研修・会議、日々話し合い等適宜実施している。		
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	見学等の受け入れ、保護者面談での聞き取り		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回以上の定期研修を実施している。研修テーマについては毎年見直しを行っている。現場での指導を実施している。		
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年ごとにモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 43名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 6名/50名中</li> <li>・わからない 1名/50名中</li> </ul>	利用児とご家族のニーズをしっかりと聞き取りし、支援計画に反映させている。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	毎月プログラムを組み、個別活動、集団活動をバランスよく取り入れるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもしっかり見て下さっていて支援内容にもとても満足しています。ありがとうございます。</li> <li>・もう少し目標を高めても良いと感じる点もある。</li> <li>・保護者の困り事にも寄り添ったうえで、子供の発達に合わせて支援内容が設定されている。</li> <li>・クッキングをととても楽しんでいます。家ではなかなかさせてあげられないので、作る、食べる、楽しむ、ができて良い。</li> </ul>	各プログラムごとに評価し、次のプログラム開発に生かすようにしている。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	半年に1回のモニタリングと送迎時の聞き取り等で支援内容を検討している。また年1回保護者面談を行い、詳細を聞き取りしている。		支援計画書を職員と共有し、適時アセスメントを行っている。

適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員で支援計画書を共有し、適切な支援の実施に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 46名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 2名/50名中</li> <li>・わからない 2名/50名中</li> <li>・プログラムを毎月見るのが楽しみ。イベントも設定されている。</li> </ul>	支援計画に沿った支援を行っているが、必要に応じて支援内容を変更する場合は、ご家族に相談し変更している。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月1回のミーティングで検討、立案している。		保護者の意見も聞きながら、プログラムの見直しを進めていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	要望に沿えるよう善処している。 土曜日や長期休暇は、行事と平日に行っているプログラムを実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 45名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 4名/50名中</li> <li>・わからない 1名/50名中</li> </ul>	会社で決めたカレンダーを事前に提示し、出来るだけ利用要望に沿えるようにしている。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	参加する児の様子に合わせてプログラム内容を調整している。 各プログラム毎に担当を決めて2ヶ月毎に変更して固定化しない工夫を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過ぎしやすい季節にお出かけできたらいいなど。</li> <li>・ダンスや製作など色々しているのがうかがえるので良いと思う。</li> </ul>	プログラムに参加している児の様子を見て、活動内容の適不適を職員と共有、改善点を検討している。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	出勤職員間で支援の変更や注意点の意見交換を適時行っている。 確認事項が記されたノートやホワイトボードの活用、毎日の朝礼を行っている。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日の児の様子は経過記録等に記載し職員間で共有。特記事項は口頭や職員の連絡ノート、ホワイトボード、LINEなどで共有している。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	児の様子は経過記録に記入し、支援内容の不具合等あれば報告、改善に取り組んでいる。 複数職員によるチェックと確認。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度モニタリングを行い支援計画の更新を行っている。また年に1回保護者懇談を行いニーズの聞き取りを行っている。		
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	ご案内のあったサービス担当者会議には出来るだけ参加できるようにしている。		

関係機関との連携	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現状なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現状なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	サービス担当者会議への出席、その他見学機会があれば参加している。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	実施している		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	実施、常に検討している		
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	利用児童の交流機会は感染予防の観点から難しいことが多かったが、職員が各施設職員と情報交換を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 8名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 4名/50名中</li> <li>・いいえ 14名/50名中</li> <li>・わからない 22名/50名中</li> <li>・未回答 2名</li> </ul>	地域との繋がりを持つことは継続し、他施設の子ともと交流する機会を検討する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の祭り行事に参加している。		
		1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時の説明に加え、要望があればいつでもお応えできる体制を作っている。 送迎時にも適宜行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 48名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 1名/50名中</li> <li>・未回答 1名</li> </ul>
2		児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリング段階で丁寧にお話を聞いて計画書を作成している。計画書の内容には納得いただいている。 保護者面談や送迎時に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 48名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 2名/50名中</li> </ul>	個別面談のタイミングなどで支援計画書の内容に齟齬がないか確認する。 より丁寧な説明を心掛けていく。

保護者への説明責任・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	感染予防の観点から実施は難しかったが、職員間の研修では行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 17名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 7名/50名中</li> <li>・いいえ 10名/50名中</li> <li>・わからない 16名/50名中</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の状況を細かく連絡帳で知らせてくれるので課題もわかることがある。</li> <li>・保護者向けイベントもあれば参加してみたい。</li> <li>・通所されている方は保護者の方がお忙しい印象を特に受けます。ニーズがないのでは。</li> </ul>	以前は行っていたが、参加者が少なかったため現在は開催していない。要望が多ければ、ペアレントトレーニング等、支援についての勉強会を実施したい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳を通じてお子様の状況をお伝えし、必要に応じて送迎時などに課題や問題行動等について情報交換を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 46名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 3名/50名中</li> <li>・わからない 1名/50名中</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に連絡帳や送迎時にやり取りして下さって、出来たことを一緒に喜んでくださって頼りになります。心の支えにもなっています。</li> </ul>	送迎時に保護者との当日等の本人の様子などを共有できるよう丁寧な対応を心掛ける。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳やLINEを通じていただいた相談についてはその都度適切に対応している。送迎時や保護者面談でも行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 43名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 2名/50名中</li> <li>・いいえ 1名/50名中</li> <li>・わからない 4名/50名中</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清家先生にいつも前向きなアドバイス言葉をもらえてうれしいです。</li> </ul>	現状の対応を継続する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	感染予防の観点から、現在活動休止している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 6名/48名中</li> <li>・どちらともいえない 2名/48名中</li> <li>・いいえ 25名/48名中</li> <li>・わからない 15名/48名中</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催されているのでしょうか？</li> </ul>	個別面談を年1回実施している。保護者会等の要望が多いようであれば開催を検討する。



7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	常に迅速な対応を心がけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 30名/48名中</li> <li>・どちらともいえない 3名/48名中</li> <li>・わからない 15名/48名中</li> <li>・経験が無く。</li> <li>・苦情がないので...ほかの保護者のことは不明。</li> <li>・苦情について、もっと本人、保護者に（加害者側の）伝えていっても良いと思います。</li> <li>・苦情言っていない為、体制に関しては不明。</li> <li>・月に一度、休所日を設けられていて、そこで研修や子供、保護者の共通理解がはかられていて、問題に直面した際も迅速に対応いただいています。</li> </ul>	<p>会社内で起こったことは会社の責任であり誠実に対応している。</p> <p>守秘義務の観点から、原則として保護者同士の話し合いは行っていない。</p> <p>契約時に説明済み。</p> <p>必要に応じて、行政、関係機関とも連携を取り、対応していく。</p>
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	常に配慮して対応している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 45名/48名中</li> <li>・どちらともいえない 2名/48名中</li> <li>・わからない 1名/48名中</li> <li>・LINE、送り迎え時に。</li> </ul>	現状の対応を継続する。
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<p>毎月の通信やカレンダーの配布を通じてお知らせをしている。</p> <p>LINEやホームページで活動の様子などを伝えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 41名/48名中</li> <li>・どちらともいえない 3名/48名中</li> <li>・わからない 4名/48名中</li> <li>・カレンダーで月の行事の説明はあるのでそれであれば「はい」</li> <li>・また、たまに写真等も見られたらありがたい、HPがありそうならLINEに載せてほしい。</li> <li>・LINEの写真の更新を楽しみにしています。元気に過ごす様子を見ることが出来て嬉しいです。</li> <li>・月ごとのイラスト入りのスケジュールがとてもわかりやすい。</li> </ul>	<p>毎月通信を出している。</p> <p>LINEやホームページの周知をさらにすすめる。</p>
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付きの書庫を用意しており、十分配慮できている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 42名/48名中</li> <li>・どちらともいえない 1名/48名中</li> <li>・いいえ 1名/48名中</li> <li>・わからない 4名/48名中</li> </ul>	情報の取扱いに齟齬がないか注意する。

非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時の対応、感染症の対応については職員研修で年2回以上学習している。 研修内容を毎月の通信に記載している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 37名/48名中</li> <li>・どちらともいえない 1名/48名中</li> <li>・いいえ 3名/48名中</li> <li>・わからない 6名/48名中</li> <li>・未回答 1名</li> </ul>	保護者へは研修の実施実績を、カレンダー等でお知らせしている。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回以上職員研修で実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 27名/48名中</li> <li>・どちらともいえない 1名/48名中</li> <li>・わからない 20名/48名中</li> </ul>	今後も研修で継続する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に2回以上職員研修で実施している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	保護者に事前の了解を得て行っており、個別支援計画にも記載している。 研修などで理解できている。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	初回聞き取りにてアレルギーを確認、食事、おやつ の食材確認を行っている。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	月一回の会議で話し合いを行っている。		